



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

“人類に奉仕するロータリー”

RI会長 ジョン・ジャーム

2570地区ガバナー 前嶋修身

第3グループ
ガバナー補佐 野本俊光

「知恵と元気を」

第2748例会 2017. 4. 19

—— 雑誌 月 間 ——

天候 晴 (NO. 53-42)

会長 小川晃男 幹事 矢島高明

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 中里(光)君、安藤君

例会場: ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/

E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 小川会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 加藤義明会員、田中敏雅会員

【会長報告】

「ひろくんに心臓移植を」は祖父にあたる土浦南のロータリアン(第2820地区総括委員長)からのお願いです。よろしくお祈りします。

15(土)地区「立法案検討会決議案件」の会議に幹事と参加。3年に1回のRI規定審議会、次は2019年。代表議員と補欠議員を選出するため「指名委員会」を設置するための会議でした。5名のPG(石川、真下、加藤、立原、高柳)が委員で委員長は互選という議案は全員賛成で決議。昨年、和光RCから出された議案(「RC暦と年齢を足して85以上ならば出席規定の適用が免除」というのを「20年以上のRC暦」に変更)はRI規定審議会に議決、採用されました。各クラブからでも現状の定款にご意見があれば上程されます。是非お申し出頂ければと思っております。

【幹事報告】

21(金)合同ゴルフコンペ。23(日)地区研修協議会。10名の方、駐車場・受付係をよろしく。

◎例会変更のお知らせ

◇所沢RC

- ・5/2(火) 例会取止め(法定休日)
- ・5/23(火) 移動夜間例会 パークホテル
- ・6/13(火) 移動例会 ホテル鑑賞会
- ・6/27(火) 最終夜間例会 掬水亭

【委員会報告】

◎次年度幹事 土屋(良)君

23(日)駿河台大学で地区研修協議会。会長エレクト、委員長は第二講義棟前に集合。受付・駐車場係の方は8時。制服でよろしくお祈りします。25~28満寿家にて座談会です。

◎親睦活動委員会

前嶋君

5/13~親睦旅行は46名の参加。旅行代金の振込口座は妻の管理なのでご安心ください。集合6:10頃に改札前。21(金)合同ゴルフコンペ終了後、ヘリテージで懇親会。

◎雑誌委員会

福島君

『友』4月号。横組P19「ロータリー財団100周年を祝う」。P36「ロータリーと歌」楽譜を購入しました。縦組P4「母子の健康」漢方に「母子同服」子を治す前に母を治すという治療法があります。女性が健康でないと家族の健康は守れません。P18「米山梅吉 この一冊」『常識関門』は購入出来ない状態ですが良い事が書いてあります。

◎環境保全委員会

吉澤君

飯能新緑ツーデーマーチ、4/30事前申込締切です。是非奮ってご参加ください。

【出席報告】無届欠席0 中山出席向上委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
58名	6名	53名	93.10%	98.28%

【M U】

- 4/11(日高) 田辺君
- 4/15(地区) 小川君、矢島(高)君
- 4/16(地区) 伊澤君
- 4/17(新狭山)・4/18(入間南) 田辺君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・加藤さん、田中さん、これからも一緒にロータリーを楽しみましょう。 山川君
- ・結婚記念日お祝い有難うございます。 矢島(巖)君
- ・誕生日お祝い有難うございました。 本橋君
- ・早退 和泉君、土屋(良)君、杉田君、大崎君、前嶋君

本日計14,000円、累計額962,003円。
◎26日例会当番は新井、雨間会員です。

【卓 話】

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 加藤義明会員 田中敏雅会員



加藤会員 入会8か月。よちよち歩きですが皆様と事業に参加させて頂き、勉強、発見をさせて頂いております。水曜お昼の例会に出るというやりくりの方法がこの頃やっと掴めてきたかなと感じます。普段、飯能に居る事が少ないため、入会のお話を頂いた時もその事が一番気になっておりました。前嶋ガバナーからバッジを付けて

頂いた翌週に欠席。「これはいかん」と、矢島幹事からMUの仕方を細かく教えて頂き、恐々、池袋西RCに顔出し。「入会したばかりで何も分からないのですがMUというのをさせてください」とお願いしましたところ一瞬びっくりされましたが本当に温かく迎えて頂きました。後日、中里(昌)パスト会長からは「バッジを付けていれば堂々と世界のRCの例会に行けるんだよ」と。正にその通りと思いました。

ロータリーの良さと言えども1つ。個人的感想ですが飯能の重鎮の方々にわざわざ時間を作って頂いてお会いするのは申し訳なく、かと言って電話では失礼という事が多々ございますが、この時間に“自然に”お会い出来るというのはたいへん有難く素晴らしい事と思っております。時間の許す限り、例会には早めに参りましていろいろな方とお話させて頂いたりアドバイスを頂いております。

華やくこの時期、各種団体の総会の時期でもあります。私は飯能消防団第2分団後援会会長を務めさせて頂いておりますが、5月の総会で次の優秀な方にバトンタッチする予定です。お世話になった消防への置き土産のような気持ちで、今日は団の現況についてお話させて頂きます。

「消防団」は消防組織法に基づき全国の市町村に設置され、団員は2,200団に86万人、非常勤の特別地方公務員です。常備消防があるのに何故必要なのか。初期消火への対応、交通整理等のバックアップ、台風や大雨時の対応、山林での行方不明者の捜索、鎮火後の待機警戒、予防消防、一人暮らしのご老人への防火訪問、応急手当の普及指導、等。「自分達のまちは自分達で守る」という精神の下、常備消防だけでは手が回らないこまごまとした対応をしています。「飯能消防団」は4/1、新入団員23名を迎え、梨木団長を中心に11分団364名(うち女性11名)で今年度をスタート。定員386名、充足率94.3%、平均年齢30代後半～40代初め、平均在籍年数は約10年。JC理事長を受ける際に12年で円満退団した私でも、半分冗談で「敵前逃亡だ」と言われました。3/31に退団した井上副分団長は28年。「なかなか辞められない、だから新人が入って来ない」皆様のご協力でこの“悪循環”を断ち切っていく方向にもっていかれたらと思います。

団員が特に力を入れているのは「予防消防」で、担当地域から火災を出さない努力をしています。「無火災表彰」が一番価値のある賞だと個人的には思っております。数年前、放火による火災が多発し、消防団も非常警戒態勢を敷いて日夜巡回パトロールをしました。今では平常シフトに戻っておりますが、飯能消防団としては月100km走る事を最低条件に見回りをしております。啓蒙の気持ちを込め、「カンカン」と鐘を鳴らしながら見回っているのですが、この音がうるさいとのクレームが入る事もあり夜9時以降は鳴らさずに回っています。これも時代の流れかなとも思います。また、地域に密着した消防団が一番力を発揮するのは「どこに・どんな人が・どのような状態で」住

んでいるかという情報です。火災の時一番配慮するのは建物の中に人が居るのか居らないのか、どんな可燃物があるのか。それによって消火の仕方も大きく変わってきます。近隣の皆さんからいろいろな情報を集めながら消火活動を行います。普段からのご近所付き合いが必要になるという実例かと思えます。鎮火が見えた段階で「敷地内にホースを通す事は許さない」「塀を乗り越えて消火活動をするとは何事か」「玄関前の足跡をきれいにしろ」と隣家の方から言われた事がありました。足跡を消すために団員がモップ掛けしている姿を見た時に、やるせないような複雑な気持ちになりました。もし自分の家が燃えている時だったらその人はどう思うのだろうか。「自分さえよければ」という時代になってきたのかという危惧を感じます。「消防団」への、より一層のご支援ご理解を頂く事をお願いします。自己紹介とは違いますが自分の思いをこの場をお借りしてお話させて頂きました。



田中会員 入会6か月。去年4月に飯能に着任して最初にRCの存在を確認致しました。1地区に1つのRCという所は多くなく、飯能RCの良い所は「飯能に1つ」という点です。こちらに参加させて頂く事で飯能の皆様とお会い出来る。非常に大きな魅力を感じた次第です。

昨年5月下旬、増島先生の下に飛び込みでご挨拶に伺ったところ、診療時間にもかかわらず時間をとってくださいました。それから約半年掛けてお世話になる手続きをさせて頂きました。本来ならもっと早く仲間入りさせて頂きたかったのですが、私共の組織には接待交際費という枠があり、初年度、どれ位お金が出ていくのか分からなかったもので、入会を遅らせました。この7月からはフルに活動を楽しんでいきたいと思っております。

「みずほ銀行飯能支店」は今年の12月で45年。加藤様から場所をお譲り頂き、間邊様のお父様に測量して頂きました。この場の多くの方々に周年行事に参加して頂き、改めて皆様に支えられて営業出来ているのだなと実感しました。10年前に法人取引を所沢に移す事になり、ご迷惑をお掛けしましたが、約4年前から法人取引を再開しており、少人数ながら丁寧に訪問しているところで。

私は1968(S43)年、東伏見に生まれて、12か所を転居、今は花小金井、小金井カントリー倶楽部の近くに住んでおります。最も長く住んだのは茨城・牛久。稀勢の里の出身地としてクローズアップされました。大仏も有名です。妻と長男(高3)、長女(中3)の4人家族。高校に入った頃、勉強そっちのけで麻雀を覚えて、機会は減りましたが今も趣味として続けています。『三国志』を数年前に読み、今もいろんな方々の作品を読んでいます。

若い人と仕事をする機会が多いものですから「自分が若い時どうだったか」を考えながら接するようにしています。時には怒りたくなったりしますが「一心同体」「一蓮托生」「同じ舟に乗っている」と自分に言い聞かせ、視線を合わせて一緒に取り組むように気をつけています。困難な局面で言い聞かせるのは「一生懸命やっつければ必ず時間が解決してくれる」という事です。今の会社組織は合併を繰り返してきていますので「社訓」らしいものはありません。第一勧業銀行(第一国立銀行)、富士銀行、日本興業銀行の3行が一緒になったのですが、第一国立銀行の洪沢栄一(栄一)の言葉に「私利を追わず公益を図る」、富士銀行の安田善次郎(善次郎)の名言を得るために寄付をするのではなく、陰徳でなくてはならない。先々週のフレッシュロータリーの会でもRCは「陰徳」から始まったと教えて頂きました。日本興業銀行の中興の祖・中山素平も「徹底した無私無欲の精神」を説きました。今、目先の事を追いがちですが、過去の方々は大きな視点の中で事業を進めていました。4月から代わった頭取からは「課題解決のベストパートナー」というメッセージが今、全行員に飛ばされています。